

地域医療連携室だより

令和 3 年 5 月 / 第 25 号

大阪市立十三市民病院

地域医療連携室 室長 挨拶

青葉が目にもまぶしく夏を思わせるような陽気の日もあり、日中の寒暖差も激しく皆様におかれましては、体調管理に大変ご苦労をされていることとお察し申し上げますとともに、益々ご盛栄のこととお慶び申し上げます。

当院が「新型コロナ専門病院」に指定され 1 年が経過しました。これまで受け入れた新型コロナ感染症の入院患者の累計は、令和 3 年 4 月上旬に 1,000 名を超え、近隣の医療機関や高齢者施設の皆様には多大なるご理解とご協力をいただきました。

当初はコロナの感染も半年程度で落ち着くのではと考えていましたが、春を迎え、第 3 波もそろそろ収束に向かいつつありましたが、変異株の出現により感染者が急速に拡大し、まん延防止等重点措置が発出されました。しかし、過去最高の感染者数を連日更新し、緊急事態宣言が発出されようとしています。皆様におかれましても、新型コロナ(疑い)患者の対応に追われていることとお察しいたします。

当院の第 4 波の状況は、3 月中頃までは若年層の入院が半数以上を占めておりましたが、これまでと同様に高齢者が増加し、4 月中旬には 70 歳以上の方が半数を占める状況になりました。今回の特徴は高齢者だけでなく 30 代から 50 代の方も重症化しており、なかでも自覚症状がないにも関わらず急激に容体が悪化する事例もあり変異株の影響と考えられます。変異株は感染力が従来株より強く、重症化リスクも高く、そのスピードも速いことから、重症患者数が重症病床数を上回る状況に至っており、これまで円滑に重症病床へ転院できていましたが、調整に時間を要しております。

今後も退院基準を満たした患者さんの退院・転院調整につきまして、ご理解・ご協力をいただき、連携を深めてまいりますのでよろしくお願いいたします。

今号では、新型コロナ感染症対策として今年度新設しました感染症内科の医師を含め、新しく着任されました各診療科の新任医師 4 名を紹介させていただくとともに、4 月より再開した母乳育児相談室のご紹介と Web 開催となる十三トピックセミナー、十三臨床談話会のご案内をさせていただきます。

感染拡大により医療体制が逼迫するなか、通常診療にも影響を及ぼす状況ではありますが、地域医療連携室といたしまして、スタッフ一同は皆様方のご意見を伺いながら、益々努力し、地域の皆様にご貢献していく所存でございますので何卒宜しくお願いいたします。



新任医師紹介

<感染症内科>

令和3年4月に大阪市立総合医療センターから大阪市立十三市民病院の感染症内科部長として赴任いたしました『後藤 哲志（ごとう てつし）』と申します。

平成2年に宮崎医科大学を卒業、大阪市大第二内科に入局しました。研修医として大阪市大第二内科、大阪市立桃山病院感染症科、大阪厚生年金病院内科で過ごしました。その後舞子台病院、駒込病院を経て大阪市立総合医療センターの感染症内科に勤務し現在に至ります。第二種感染症指定医療機関（いわゆる伝染病棟）に勤めていたため特殊な感染症（マラリア、デング熱、赤痢等の輸入感染症）に長く従事してきました。最近では専らHIV感染症の患者を診たり、感染対策を行っていました。令和2年4月から日本初の「新型コロナ専門病院」となった十三市民病院で地域の皆様のお役に立てれば幸いです。何卒よろしくお願い申し上げます。



感染症内科 後藤 哲史



<整形外科>

令和3年4月より大阪市立十三市民病院整形外科医長として赴任いたしました『窪田 穰（くぼた ゆたか）』と申します。

平成23年に滋賀医科大学を卒業し馬場記念病院、石切生喜病院、大阪労災病院などで外傷・手の外科を中心とした研鑽を積ませていただき、前任の大阪掖済会病院では重度四肢外傷の治療や手の外科を中心としたマイクロサージャリーの技術を学ばせて頂きました。当院では手の外科専門とした整形外科医師の赴任歴がなく、今まで行っていなかったバネ指や手根管症候群に対する外来手術も行っていこうと考えております。手の痺れや疼痛にお困りの患者様がいらっしゃればお気軽にご紹介ください。新任ということもあり色々至らぬ点はあるかと思いますが、地域の最前線に立ってご尽力いただいている皆様のお力となれるよう努めて参ります。どうぞよろしくお願いいたします。



整形外科 窪田 穰

<消化器内科>

令和年 4 月より大阪市立十三市民病院消化器内科医員として赴任いたしました『上村 拓也（うえむら たくや）』と申します。

平成 28 年に大阪市立大学を卒業し初期研修を行った後、大阪市立大学医学部消化器内科に入局し、東住吉森本病院、大阪市立大学医学部附属病院、大阪掖済会病院で勤務しておりました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大で大変な状況ではございますが、地域医療に微力ながら貢献できるよう頑張っていく所存ですので、何卒宜しくお願い申し上げます。



消化器内科 上村 拓也

<産婦人科>

本年 4 月より、大阪市立十三市民病院産婦人科に赴任いたしました『保科 涼真（ほしな りょうま）』と申します。

平成 29 年に金沢医科大学卒業後、富山県厚生連高岡病院にて初期研修をし、その後大阪市立大学医学部附属病院の産婦人科医局に入局しました。2 年間大学病院で勉強させていただき、今回入職させていただきました。十三市民病院に在籍する医師の中で一番職歴が短く、まだまだ勉強中の身ですのでご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。現在は新型コロナ専門病院として活躍されており、コロナ対応をさせていただく上でも十分に勉強させていただきたいと思っています。産科復興もがんばりたいと思っていますのでよろしくお願いいたします。



産婦人科 保科 涼真

母乳育児相談室を行なっています



新型コロナウイルス感染症が流行している中で、母乳や育児をされているお母さん方をアドバンス助産師がサポートします。ご希望の方は **事前予約**が必要になります。

下記の番号にお電話をいただき「**母乳育児相談室を希望**」とお伝えください。

電話番号 : 06-6150-8000 (対応時間: 平日 10 時~16 時)

外来予約時間 : 火曜日~金曜日 13 時~16 時

金額 : 2,880 円



持ちものは、病院のホームページをご覧ください。



受診時は、必ずマスクを着用してください。



当院では、感染予防対策に努めています。



十三トピックセミナー【Web 配信】

日 時 : 2021 年 5 月 20 日 (木) 18 : 30 ~ 20 : 00

開会の辞 : 18 : 30 ~ 18 : 35

大阪市立十三市民病院 病院長 西口幸雄 先生

総合座長 : 大阪市立十三市民病院 消化器内科 副部長 山口誓子 先生

【講演Ⅰ】 : 18 : 35 ~ 19 : 05

「C型肝炎の診断と治療 ～院内肝炎ウイルス陽性者のピックアップの現状～」

演者 : 大阪市立十三市民病院 副院長 倉井修 先生

【演者Ⅱ】 : 19 : 05 ~ 19 : 55

「日常診療における説明責任

～C型肝炎患者さんの治療機会を奪っていませんか？」

演者 : 北浜法律事務所・国際法共同事業 医師・弁護士 長谷部圭司 先生

閉会の辞 : 19 : 55 ~ 20 : 00

大阪市立十三市民病院 副院長 倉井修 先生

※ご視聴にあたっては**事前登録**をお願いします。

登録アドレス : <https://qr.paps.jp/nvfVp>

第 33 回十三臨床談話会のご案内【Web 配信予定】

日 時 : 2021 年 6 月 30 日 (木) 19 : 00 ~

開催形式 : ZoomウェビナーによるWeb配信

開会の辞 : 大阪市立十三市民病院 病院長 西口幸雄 先生

特別講演 座 長 : 大阪市立十三市民病院 糖尿病・内分泌内科部長 日浦義和 先生

テーマ : 「糖尿病関連 (仮)」

大阪市立大学大学院医学研究科

代謝内分泌病態内科学 教授 繪本正憲 先生

※詳しく決まり次第、ご案内させていただきます。



編集

〒532-0034 大阪市淀川区野中北 2-12-27

大阪市立十三市民病院

地域医療連携室

代表電話 : 06-6150-8000

直通電話 : 06-6150-8067